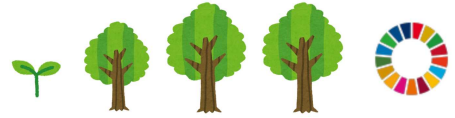




Sustainable Development Goals #06

吾妻中 × SDGs

持続発展可能なふるさと創り



福島市の吾妻中学校区は米、果物、野菜栽培が盛んな地域です。「持続発展可能なふるさと創り」を目標に、JAふくしま未来吾妻営農センターや地域の方の協力を得ながら学習を行っています。地元の農業をSDGsの視点から捉え、学校と地域の連携を図る教育活動を目指しています。

各教科等とつなげて

これまで吾妻中学校では、教育活動全体を通し、SDGsの視点に立った学習を行ってきました。作物を栽培することを通して食糧問題についての考えを深めたり、森林保全と海洋資源を守ることをつなげて考えたりする等、子どもたちのSDGsに対する意識が高まっています。道徳科では、環境汚染についての教材を通して、自分の行動を振り返り、より自分事としてSDGsについても捉えることができるようになってきました。



【例えば…】〈例1〉

道徳 海中のプラスチックのゴミ問題

↓

自分の行動を振り返る

毎日使っているストロー等のプラスチックが、大きな問題になっていると知り驚きました。でも、ストローを使わない生活は不便です。

↓

道路や川にゴミを捨てない

↓

海やそこに住む生き物を守ることに つながる

↓

魚を食べる人間の命を守ること

意識の高まり

美術

〈例2〉

世界には、学校にも通えず、生活のために働いている子どもや、住む場所を追われ、飢えや病気のために亡くなる子どもがたくさんいます。そのことを改善するために、私たちは今何が出来るかを考えるようになりました。

総合学習

↓

美術

平和と公正をすべての人に

子どもたちの目は、「地域」の学習から「グローバル」なものへと広がっています。



地域人材を生かして 【食糧】



バケツで稲栽培

2年生は、バケツを使用して稲栽培に取り組んでいます。種もみを植えてから収穫までの作業を行い、自分たちの手で米を作ることにも挑戦しています。

スズメから稲を守ったり、水の管理をしたりする等、実体験を通して稲作の大変さや楽しさを学んでいます。



稲作を通して、食糧問題、貧困問題、地域産業について考える機会としています。



一生懸命に作っても捨てられてしまうと悲しくなります。食品ロスが少なくなるように、食料の買いすぎや料理の作りすぎに気を付けたいと思います。

校地内で梨栽培

吾妻中学校は、校地内に梨園があり、そこで3年生が栽培活動を行っています。

営農センター指導員から、受粉交配の目的や方法を学び、実際に受粉交配の体験をしています。花粉の提供や消毒作業は地域の方の協力を得ています。



味は変わらないのに、表面に傷があると商品として出荷できません。農家は作物をていねいに栽培したり、傷物を安く売ったりしてできるだけ捨てる量を減らしています。

- ◆ 給食の残菜を減らす
- ◆ 脱フードロスの意識化

「持続発展可能なふるさと」
～吾妻のために～

【防災】



町を知る（防災教室）

吾妻山噴火を想定した防災教室を、庭坂小学校と合同で行っています。今年度は、火山泥流が襲ってくる場合の避難訓練を実施しました。

磐梯山噴火記念館館長を講師に迎え、「吾妻火山と私たち」の演題で講演いただきました。講演後には、福島河川国道事務所の方より土石流模型による実験を見せていただきました。森林保全や自然災害について知ることで、自分の住む町の安全について理解を深めることができました。



土石流の実験から、自然災害について改めて考えることができました。森林を守ること、万に備えて避難訓練を行うこと、そして状況に応じて判断し、行動することが大切だと感じました。

